

特徴は「文教」「街育て」だ。

探訪新 ライフスタイル

進化する「トーキョーローカル」



19年2月にオープンした「HAMA CHO HOTEL&APARTMENTS」

「トーキョーローカル」とは、東京のローカルに暮らす。ローカルといつても田舎という響きではなく、また下町特有の庶民性とも異なる。大手町・丸の内・有楽町(大丸有)といった日本を代表するビジネスエリア、新宿・渋谷・池袋の副都心から少し外れた、緩やかで洗練された暮らしの営みがある都心のイメージだ。

「トーキョーローカル」

だ。文教地区として学校、図書館、博物館などが集積。都市計画法で文教上好ましくない業態などは規制され、おのずと歴史、治安、生活環境、コミュニティーエリアは、有名大学付属の

文京区の東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅周辺の小石川エリアは、有名大学付属の

ある街が保たれ、それを図書館、博物館などが集積。誇りにするプライドが強まらない業態などは規制され、おのずと歴史、治安、生活環境、コミュニティーエリアは、有名大学付属の

文京区の東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅周辺の小石川エリアは、有名大学付属の

ある街が保たれ、それを図書館、博物館などが集積。誇りにするプライドが強まらない業態などは規制され、おのずと歴史、治安、生活環境、コミュニティーエリアは、有名大学付属の

親近感が生む洗練魅力に

つかり根付き、ホットとする育つ。

日本橋から外れた浜町界

がオーブル。1階にはブル

日常の買い物、暮らしの空間がある。またダンスやピアノなど習い事、稽古事の看板も目に付く。シンボル

アマチャコ HOTEL & APARTMENTS」

の播磨坂の150本の桜並木にはみんなの広場という

「店主の家をつくる感覚で

隣も名門の区立小学校があり、子育て住民が増えてい

て不動産価格は4分の1程

度で、若い人が起業して古

いビルで個性的な飲食店を

都心ながら子育て環境がいいのは、トーキョーローカルの必須条件だ。青果店、理髪店など個人経営店がし

いビルと違ったたたずまい開業するなど、新旧の価値が交錯したエネルギーが

ライフスタイル

の霧氷が漂う。3代にわたる安田不動産のコンセプトは、「地産地育」は、地元発の産業、企業、店舗を地元で育てるという考え方だ。

2015年に駐車場だった土地に一軒家のそば店を誘致、その後も古い住宅をなっていく。

共通するのは、なんとか顔見知りという関係性から、店と街との親近性があること。そして古い街の中から、新しい暮らし方や働き方のライフスタイルの革新性があることだ。ト

ーキヨーローカルは、じわりじわりと街のブランドに

幼稚園、小中高校が集まる幼稚園、小中高校が集まる側面がある。大丸有に比べて、街に落とし込むと、テナントビルと違ったたたずまいの街が生まれる。青果店、理髪店など個人経営店がし

いビルで個性的な飲食店を開業するなど、新旧の価値が交錯したエネルギーが

19年2月にはホテル、店舗、賃貸住宅の複合施設「H

AMACHO HOTEL & APARTMENTS」

の澤田月来男さんは語る。

「店主の家をつくる感覚で

度で、若い人が起業して古

いビルで個性的な飲食店を

都心ながら子育て環境がいいのは、トーキョーローカルの必須条件だ。青果店、理髪店など個人経営店がし

いビルと違ったたたずまい開業するなど、新旧の価値が交錯したエネルギーが

のみフレンチとなつた。

「店主の家をつくる感覚で

度で、若い人が起業して古

いビルで個性的な飲食店を

度で、若い人が起業して古

いビルで個性的な飲食店を

本大地

水

(商)創造研究所代表 松